

あんしんダイヤル

消防広報

NO. 27

119

京都中部しょうぼう

編集・発行／京都中部広域消防組合
〒621-0851 亀岡市荒塚町1丁目9番1号
TEL 0771-22-9581 FAX 0771-23-4535

平成19年11月1日発行

災害出動状況(平成19年4月1日～平成19年9月30日)
火災 34件・救急 3,924件・救助 44件・その他 157件



地震発生！

先生の指示に従って避難してください！

保護者や地域の人達が見守るなか、京丹波町立和知小学校において実施された避難訓練では、子供たちが真剣に取り組み、災害へ備えての心構えを学びました。

また、避難訓練を見学された保護者の方々は、新しい応急処置法を学び、万一の場合に備えました。



消防組合設立から25年

昭和57年4月1日、京都中部地区における消防の常備化を確立するため、亀岡市、北桑田郡及び船井郡の1市8町により京都中部広域消防組合を設立し、昭和57年10月1日から消防広域業務を開始しました。

その消防組合の構成市町も、平成17年4月1日には旧北桑田郡京北町が京都市へ編入合併され、平成17年10月1日には京丹波町、平成18年1月1日には南丹市がそれぞれ発足し、現在では2市1町となっています。

それでは、設立当時の状況と平成19年の消防組合との比較や災害出動件数の推移を紹介します。

内 容	昭和57年度の状況	平成19年度の状況	【備考】 平成19年度の人口は、 旧北桑田郡京北町の人口を 含んでおりません。
人 口	約137,000 人	約140,000 人	
職 員 数	109 人	176 人	
消防車両の総数	20 台	40 台	

災害出動件数の推移

出動区分	火災出動	救急出動	救助出動
昭和57年	27 件	1,402 件	
昭和62年	35 件	2,748 件	46 件
平成 3年	38 件	2,958 件	85 件
平成 8年	53 件	3,527 件	109 件
平成13年	61 件	4,523 件	116 件
平成18年	47 件	5,186 件	80 件

【備考】 昭和57年中の亀岡市を除く8町の件数は、10月1日から12月31日までの件数です。
救助出動については、昭和60年から出動統計を実施しています。

この四半世紀の間に消防組合の管内も大きく変化し、京都縦貫自動車道路の開通やJR山陰線の電化等による流通の変化とともに、人口の増加や高齢化等により各種災害等が増加し、最近5年間においても、SARS（サーズ）の疑い患者や鳥インフルエンザの発生、さらに、台風23号等の大きな災害が発生しました。

また、住宅用火災警報器の設置義務化やAED（自動体外式除細動器）の普及など、わたしたちを取り巻く環境は、刻々と変化しています。

そうしたなか、消防組合では、「住民の心とふれあい 安全安心を消防から」をスローガンとして、住民に期待に応え、信頼される消防を推進しています。

そこで、未曾有の被害をもたらした、国民に衝撃を与えた「阪神淡路大震災」以降における各種災害の歴史と消防組合における消防力強化の歴史を紹介します。

各種災害の歴史

平成 7年 1月	阪神淡路大震災が発生<救助隊・救急隊延べ 99 名を救援活動に派遣>
平成13年 9月	新宿区歌舞伎町で雑居ビル火災（死者 44 名）が発生
平成16年 2月	旧船井郡丹波町内で鳥インフルエンザが発生
平成16年 7月	新潟・福島豪雨（死者 16 名）が発生
平成16年 7月	福井豪雨（死者 4 名）が発生<緊急消防援助隊として出動>
平成16年10月	台風23号（死者 95 名）が発生<消防組合管内でも被害が多発>
平成16年10月	新潟県中越地震（死者 68 名）が発生
平成17年 4月	兵庫県尼崎市の JR 福知山線で列車事故（死者 107 名）が発生
平成18年 1月	長崎県大村市の認知症高齢者グループホームで火災（死者 7 名）が発生
平成19年 1月	兵庫県宝塚市のカラオケボックス店で火災（死者 3 名）が発生
平成19年 7月	新潟県中越沖地震（死者 10 名）が発生 【以上 抜粋】



消防組合では、救助隊、消火隊（ポンプ隊）、特殊装備隊（はしご隊）を緊急消防援助隊に登録しています。平成17年には、福井県豪雨災害に救助隊を派遣しました。

消防組合の管内でも、自主防災組織が発足し、防災訓練や消火訓練、炊き出し訓練に救急処置訓練、水防訓練などに取組みられています。



消防組合における消防力強化の歴史

平成 7年 9月	緊急消防援助隊に救助隊を登録
平成 8年 1月	高度救急業務を開始（高規格救急自動車の配備・救急救命士の運用）
平成 8年10月	はしご付消防ポンプ自動車（30m級）を配備
平成11年10月	高度救助用資機材を配備
平成12年 4月	救急要請受信時の口頭指導を開始
平成13年 9月	聴覚障害者緊急通報 FAX の運用を開始
平成17年 4月	緊急消防援助隊に消火隊（ポンプ隊）を登録
平成17年12月	災害対応特殊はしご付消防自動車（15m級）を配備
平成18年 3月	消防無線基地局を整備（船岡前進基地局の新設等）
平成18年 4月	緊急消防援助隊に特殊装備隊（はしご隊）を登録
平成18年 8月	園部消防署日吉出張所が新庁舎で業務を開始
平成19年 1月	AED（自動体外式除細動器）及び AED トレーナーを配備
平成19年 7月	京都中部広域消防組合山岳救助隊を発足 【以上 抜粋】

フォトレポート PHOTOREPORT

地域住民を対象とした防火・防災活動の一部を紹介します。
自主防災活動や救急講習会、また事業所における訓練など、さまざまな事業に取り組みました。



園部龍神祭り
「消火開始」

子供たちとともに防火防災を体験し、命の大切さを語り合いました。



竹野小学校着衣水泳
「集まれー」



知井小学校救急講習会
「イチ・ニー・サン」

南丹セーフティキッズ消防体験
「レスキュー隊員に挑戦だ！」



亀岡幼年消防クラブ防火七夕会
「火遊びしません！」

あゆみ保育園児 東分署見学
「救急車のベッドは大きいなー」



さまざまな防火事業を実施し、
火災予防を訴えました。



南丹病院看護学校の移動消防署
で避難訓練を実施しました。



西つつじヶ丘自主防災会では、
防火座談会を開催しました。



住宅用火災警報器の設置を
PRしました。

一人でも多くの方に応急処置を覚えていただくため、
救急講習会を開催しました。

管内の私立幼稚園の先生方です。



詳徳中学校の生徒たちです。



日吉福祉大学紅が丘大学の皆さんです。
(救急講習後に「なんたん元気づくり体操」をさ
れているところです。)



京丹波町スポーツ少年団の中学生・指導者・
保護者の方々です。

京都中部広域消防組合の管内は、多くの山々をはじめ、素晴らしい自然に囲まれておりますが、その山に魅せられ、ハイカーなどが余暇を利用して、自然を堪能しています。

特に、最近では健康増進を目的に入山する方々が増加しており、軽装での登山が目立つなか、遭難や事故に遭えば、生死に関わる状況になることが十分に予測されることから、より専門的に救助活動を展開できる山岳救助隊を発足させました。

山岳救助隊 発足



平成19年8月6日、亀岡市篠町王子地内において、山岳救助隊の発足披露式を開催しました。亀岡市篠町では、亀岡市セーフコミュニティのモデル地区として、事故防止に向けた取組みを積極的に進められています。



11月9日は119番の日

亀岡市・南丹市・京丹波町から119番通報すると消防本部（亀岡市）の消防指令室につながります。

写真は、助けを求める住民のみなさんと消防をつなぐ指令装置の一部です。

みなさんからの通報は、年間25,500件で1日に平均70件となります。



119番は、決して「早いもの勝ち」では、ありません。

特に、救急では自分で病院に行ける軽い症状や言ってみれば、タクシーがわりに救急車を呼ばれる方がおられます。

生命に危険があるなど、一刻を争う方への到着が遅れますので、救急車は正しく利用してください。

住宅火災警報器が効果を発揮

住宅火災をいち早く知らせ、逃げ遅れを無くすために設置が義務化された住宅用火災警報器によって、大事に至らずに済んだ火災が全国各地で報告されています。

住宅火災による死者数の
7割近くが逃げ遅れ

まだ、設置されていない方は、隣近所や住んでいる地区で共同購入されるなど、家族の生命や財産を守り、「安全で安心できるまちづくり」のために早期に設置してください。



防火防災に関することなら何でも
ご相談ください

消防組合	会計課	22-9580	消防課	22-9581	消防指令室	22-9582
消防本部	総務課	22-9580	予防課 (予防)	22-9583	警防課	22-9584
亀岡消防署	予防課 (庶務)	22-0119	八木出張所	42-3119	日吉出張所	74-0119
	東分署	23-0119	丹波出張所	82-0119		
園部消防署	予防課・警防課	62-0119				
	美山出張所	75-0119				